

1 . 平成16年度事業報告書

事業の状況

1 写真に関する芸術・創作活動の奨励、人材の育成

写真に関する芸術・創作活動の奨励、人材の育成については本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 技術研究会

「写真家のためのデジタルプリント教室」を4月27日(火)と11月18日(木)の2回、エプソン販売株式会社社会議室で行う。参加者69名。

「体験工房」を5月30日(日)西熱海ホテルで、アサヒカメラ、エプソン、キヤノン、ニコン、オリンパス、共同写真要品、コダック、コニカミノルタ、ペンタックス、富士写真フイルムなどの協力で、デジタルカメラ、フィルムスキャナー、プリント技術について行う。参加者150名。

「写真家におけるデジタルアーカイブ」を、2月3日(金)、サンシャインシティ文化会館7階会議室で催す。「PAGE2005」との共催。参加者55名。

(2) 写真教育

小学生を対象にした「写真学習プログラム」を1～3月にかけて、全国の12校(施設含む)で行う。参加児童数415名。富士フイルムイメージング(株)の協力。

2 写真の歴史、表現に関する展覧会の開催

写真の歴史、表現に関する展覧会の開催については本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 「2004JPS展」

一般公募 1,593名、応募点数 5,723枚、入選入賞者数 197名 378枚、会員テーマ「私のこの一枚・モノクローム」出品者数 158名 158枚、「ヤングアイ」参加校 22校。総展示数 377名、558枚、総入場者数 9,970名。

・東京展 5月21日(金)～30日(日) 東京都美術館、入場者 4,390名

講演会：5月22日(土)「大東京の里川と里山」講師・鏑山英次

・関西展 6月29日(火)～7月4日(日) 京都市美術館 入場者 3,390名

- 講演会：7月4日(日)「我が軌跡 人間は環境の子である」講師・井上博道
- ・名古屋展 7月13日(火)～19日(月) 愛知県美術館、入場者1,562名
- 講演会：7月18日(日)「私の写真人生」講師・田沼武能
- ・札幌展 8月4日(水)～8日(日) 札幌市民ギャラリー、入場者628名
- 講演会：8月8日(日)「何もなくて豊かな島・カオハガンの記録から」講師・熊切圭介
- 併設展 第3回JPSメンバーズ北海道展

(2) 「2004 新入会員展 - 私の仕事」

7月13日(火)～19日(月) JCII クラブ25、出品者56名、展示作品数112枚。

3 写真に関する著作権の啓蒙・普及活動

写真に関する著作権の啓蒙・普及活動については本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 著作権研究会

「デジタル時代に求められる新たな契約とは」講師・北村行夫(弁護士)、根本タケシ、加藤雅昭、6月28日(月)、JCII 会議室、参加者71名。

「肖像権・撮る側の問題点 - 二つの顔・プライバシー権とパブリシティ権」
講師・北村行夫(弁護士)、田沼武能、長友健二、9月28日(火)、JCII 会議室、参加者92名。

「デジタル社会と写真著作権の展望」講師・北村行夫(弁護士)、内藤明、藤城一郎、2月21日(月)、JCII 会議室、参加者87名。

(2) 著作権よろず相談 相談件数21件。

4 写真に関する優れた技術開発、表現活動に対する顕彰

(1) 「第30回日本写真家協会賞」を(株)フレームマンに贈呈。

贈呈式・12月8日(水)アルカディア市谷。

(2) 「2004JPS 展」入賞・入選者197名を表彰。表彰式・5月22日(土)東京都美術館。

(3) 若い写真家を発掘し奨励する「名取洋之助写真賞」創設。

記者発表を7月2日、JCII 会議室で行った。

5 写真に関する図書、機関誌等の編集刊行

写真に関する図書、機関誌等の編集刊行については本年度は以下のような書籍及び雑誌を出版した。

- (1) 『日本写真家協会会報』の発行。年3回
- (2) 『JPSニュース』の発行。年11回
- (3) 『2004 JPS展作品集』の発行。
- (4) 『会員名簿 2004～2005』増補版の発行。
- (5) 『写真著作権 2005年改訂版』発行。

6 写真に関する国際交流

写真に関する国際交流については本年度は以下のような事業を実施した。

(1) 国際交流研究会

「海外における撮影許可マニュアル - 米国編 - 」講師・西脇威夫(弁護士)小平尚典、7月7日(水)、JCII 会議室、参加者 92 名。

「写真家のレンズを通して見た世界 - アメリカ最古のピーボディ博物館」講師・アンドリュー・マスキ、8月30日(月) JCII 会議室、参加者 25 名。

「報道写真の世界 - 外国通信社に携わって 40 年 - 」講師・今城力夫、11月26日(金)JCII 会議室、参加者 27 名。

「スペースシャトルとデジタル写真」講師・柴田三雄、3月22日(火) JCII 会議室、参加者 34 名。

(2) 国際交流

4月26日(月)「中国撮影家協会」の表敬訪問。干健代表ら 6 名。

7 その他目的を達成するために必要な事業

その他目的を達成するために必要な事業については本年度は以下のような事業を実施した。

- (1) 研究会「改正消費税対策」講師・渡辺美博、大江健多良、4月12日、JCII 会議室と5月31日、西熱海ホテルの2回催した。参加者 52 名。
- (2) 「日本写真資料センター」設立に向けての小冊子『日本写真保存センター』を制作

し運動を展開した。

- (3) 文化庁の「丸の内元気文化プロジェクト」で、篠山紀信による「写真家とスターたち」を9月29日(金)に丸ビルホールで催した。聴講者202名。
- (4) ホームページ、インターネットを利用したサービス業務。
- (5) ネガカバー、ファイルなど写真整理用品の制作及び販売。

8 特別事業

特別事業については本年度は以下のような事業を実施した。

- 「新潟中越地震被災者救援写真即売会」を12月21日(火)～23日(木)、表参道・「新潟館・ネスパス」で開催した。会員写真出品者124名、293点。
- 1月27日、写真売上金と義援金1,127,000円を新潟県災害本部に届けた。